

清 第七 號ノ一

遼東洋島還付ニ関
スル日清條約

調印書

千九百零五年八月
明曆三十三年八月
日

北京
調印

トニ決シ之カ為メ大日

清國皇帝陛下ハ日本國

切テ清國ニ還付スル為

本國皇帝陛下ハ北京駐劄特命全權公使正四位

勲一等男爵林董ヲ大清國皇帝陛下ハ欽差全權

大臣太子太傅文華殿大學士等肅毅伯爵李鴻

章ヲ各其ノ全權大臣ニ任命シタリ因テ兩國全

權大臣ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ其ノ善良

大日本國皇帝陛下及大清國皇帝陛下ハ日本國
ヨリ奉天省南部ノ地一切ヲ清國ニ還付スル為
メニ條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ為メ大日
本國皇帝陛下ハ北京駐劄特命全權公使正四位
勲一等男爵林董ヲ大清國皇帝陛下ハ欽差全權
大臣太子太傅文華殿大學士一等肅毅伯爵李鴻
章ヲ各其ノ全權大臣ニ任命シタリ因テ兩國全
權大臣ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ其ノ善良

妥當ナルヲ認メ左ノ諸條ヲ協議決定セリ

第一條

日本國ハ明治二十八年四月十七日即光緒二十一年三月二十三日締結ノ下ノ關條約第三條ニ因リ清國ヨリ日本國ヘ讓與シタル奉天省南部ノ地方即鴨綠江口ヨリ安平河口ニ至リ鳳凰城海城及營口ニ亘ル以南ノ各城市及遼東灣東岸並ニ黃海北岸ニ在テ奉天省ニ屬スル諸島嶼ノ主權ヲ舉ケ本條約第三條ノ規定ニ依リ日本國

軍隊カ總テ撤退スル時該地方ニ現在スル城壘兵器製造所及官有物ト共ニ永遠清國ニ還付ス因テ下ノ關條約第三條及同條約中陸路交通及貿易ヲ律スル為メ一ノ條約ヲ締結スヘシトノ規定ハ之ヲ取消ス

第二條

清國政府ハ奉天省南部ノ地還付ノ報酬トシテ庫平銀三千萬兩ヲ明治二十八年十一月十六日即光緒二十一年九月卅日迄ニ日本國政府ヘ拂

入ルコトヲ約ス

第三條

本條約第二條ニ規定シタル報償金庫平銀三千萬兩ヲ清國ヨリ日本國へ拂入レタルトキハ其日ヨリ三箇月以内ニ還付地ヨリ日本國軍隊ヲ總テ撤退スヘシ

第四條

清國ハ日本國軍隊還付地占領中之一種々ノ關係ヲ有シタル清國臣民アルモ之ヲ處罰シ若シ

ハ處罰セシメサルコトヲ約ス

第五條

本條約ハ日本文漢文英文ニテ各ニ通テ作ル而シテ此三本文ハ總テ同一ノ意義ヲ有スト雖モ若シ日本文ト漢文トノ間ニ解釋ヲ異ニシタルトキハ英文ニ依テ決裁スヘキモノトス

第六條

本條約ハ大日本國皇帝陛下及大清國皇帝陛下ニ於テ批准セラルヘク而シテ其批准書ハ本條

約調印ノ日ヨリ三週間以内ニ北京ニ於テ之ヲ
交換スヘシ

右證據トシテ兩國全權大臣ハ之ニ記名調印ス
ルモノナリ

明治二十八年十一月八日即光緒二十一年九月
二十二日北京ニ於テ作ル

大日本帝國北京駐劄特命全權公使正四位勲一等男爵林
董



大清帝國欽差全權大臣太子太傅

文華殿大學士
一等肅毅伯

李鴻章



